

2024-25年度 第2650地区スローガン
持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable! Learn together Act together

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	池 木 啓 仁
副 会 長	中 井 謙 之
幹 事	丸 野 正 徳
会報・資料委員長	杉 村 喜 之

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第38回(通算3037回)2025年(令和7年)6月3日号

本日の例会 (6月3日)

「能楽の音楽について」

観世流大鼓方 守家由訓 様
観世流シテ方 山本博通 様

次回の例会 (6月10日)

委員長活動報告(1)

5月27日の例会報告

会長の時間

先週、24日の土曜日、香芝市ジャンボスクエアにて、当クラブ主催で高田警察署と香芝警察署のご協力の下、交通マナー啓発活動の一環として、小学生による「交通安全ポスターコンテスト」の表彰式を執り行いました。入賞された皆さんのポスターは、発想も豊かで、なかなかの出来ばえ。大変感心させられました。

さて、5月11日のテレビ番組に生出演した石破総理の発言を聞かれた方もおられると思いますが、私には全く理解できない発言でした。総理いわく、「日本のおいしいお米、安全なお米を世界の人々に提供するという事は、日本がやるべき国際社会に対する責任じゃないですか。日本だけ良ければいいや」という話にはならない。安全でおいしいお米をリーズナブルな値段で世界の人たちに食べてもらいましょうなどと、訳の分からないことを言い始めました。現在の米不足の折、どうして、今、世界中の人に日本の米を食べてもらおうとするのか。

この発言に対して、「自国民を後回しにする首相って話にならない。責任を果たさないやつが責任を語るな。馬鹿なことをもっともらしく言っている」など、Xで大炎上していました。

私は週に一度はスーパーに買い物に行きますが、食料品を中心に、値段がかなり上昇しています。特にお米は1年前に比べて2倍の上昇であり、なおかつ、大金を出し、また、消費税も還付されて海外に

輸出しようとしております。台湾のコストコでは、あきたこまちが5kg 2600円で並んでいるニュースもありました。

海外に補助金を出してまで安く提供するくらいなら、緊急避難で国内に向けるくらいの臨機応変さがあってもよいのではないのでしょうか。民間ならそれくらいの対応はやるでしょう。一昨日、小泉農水相に変わり、中間業者を飛ばして、直接大手小売りに備蓄米を随意契約することとなりました。令和の米騒動、なぜ、政治家は国民のこの切実な痛みが分からないのかと残念に思った次第です。

幹事報告

◎委員会別情報集会のご案内

5月27日(火)例会終了後 C班

◎第6回クラブアッセンブリーのご案内

7月8日(火)18時より辻甚において開催いたします。本年度の理事・役員・委員長、地区の委員の方々はご参加ください。

ゲスト

宗像佳代様(プレイバックシアター 日本校校長
卓話講師)

誕生日祝

東辻英郎会員(5月27日)

創業記念日祝

枘岡 進会員(6月1日) 俵本和実会員(6月1日)

委員会報告及びその他報告

◎趣味の会委員会 垣本喜己委員長

本日、午後6時より香芝市のイタリアンレストラン・マガジーンにて恵比寿倶楽部が開催されます。参加される方はよろしくお祈りします。

◎職業奉仕委員会 川村英亮委員長

会長のお言葉にもございましたが、交通安全ポスターコンテストの表彰式を執り行いましたので、ロータリークラブ賞2点、高田警察署賞、香芝警察署賞、合わせて4点の優秀賞作品のコピーを回覧させていただきますのでご覧ください。

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ニコニコ箱

・4月20日は社会奉仕委員会が、高田歴史ウォークラリーを、そして先週の土曜日には、職業奉仕委員会が交通安全ポスターコンテストを実施、新しい事業にチャレンジ、大変ありがとうございました。

池木啓仁会員

・宗像様をお迎えして。中井謙之会員
・宗像佳代様ようこそ当クラブへ。一ノ坪様、俵本様、垣本様、先月はありがとうございました。

丸野正徳会員

・糸魚川のRCの例会に参加しました。

木下庄司会員

・我が社の社員がRYLA研修に参加させていただきまして、ありがとうございました。大変良かったそうです。

村島靖基会員

・喜寿のお祝いを頂き、ありがとうございます。

黒松 健会員

・お誕生日祝をいただいて。東辻英郎会員

卓話「穏やかな社会変革をおこす演劇的手法」

プレイバックシアター

日本校校長 宗像佳代 様



劇団プレイバックは、プレイバックシアターを広め、深め、役立てることを目的に結成されました。

1994年に発足して以来、全国各地の活動に加え、多くの海外公演も行ってきました。その魅力は、演

劇、医療、社会問題などに精通したメンバーの多様性と、公演で表現する内容の広さ、深さにあります。長年にわたり、幅広い観客層に支えられています。

その昔、村人たちの演じる劇が、地域社会を豊かにしていました。そして、季節ごとの祭りや儀式が、喜びや感動を分かち合い、悲しみや困難を慰めあい、摂理や知恵を分かち合う場になっていました。

プレイバックシアターは、そんな場に似ています。観客の個人的な体験(ストーリー)が、パフォーマーにより、即座に劇として演じられます。観客として見ていると、「まるで私自身のことのように！」と感じ、すっかりしたり、新しい視点に気づいたりするのです。

プレイバックシアターはそこに集まった人々が、お互いに影響しあうダイナミックな場を作り、健全な地域社会を育むことに貢献します。

さて、今、あなたの心の中にはどんなストーリーが浮かんでいますか。

そのお話をプレイバックシアターに預けてみてください。あなただけでなく、同じ場所に集う他の人たちにとっても、心に残る贈り物になることでしょう。

*ここでフロアから村島靖基会員が登壇され、ニューヨークでテロに遭われた生々しい体験を語られました。村島さんがマンハッタンのビルの1階におられたときに突然の揺れを感じられ、最初は地震かと思ったものが実はテロによる爆破の振動であることが分かり、みんなを外に飛び出されました。ビルの外では緊急車両がけたたましく集合し、みんなと一緒に逃げる中で、ふと予約してあったイタリアンレストランに入ったところ、レストランの中では陽気なイタリア人が「まあ食事でもしていきなよ」ともてなしてくれ、突然別世界に来たような体験を味わった。というお話を講師の宗像様は即興でプレイバック劇に仕上げ、再現してご披露されました。

これにはフロアも拍手喝采でした。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
5月27日	87	56	49	7	1	31	22	1	92.40%
5月20日	87	56	44	12	2	31	22	1	87.34%
5月13日	87	56	53	3	1	31	24	1	97.53%

※食品ロスの削減に努めましょう。(5月20日の弁当残数は8個)